



# 学校だより No.2

沼田市立沼田西中学校

- 【学校教育目標】 「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」
- 《目指す生徒像》
- 向学 ……自ら学ぶ生徒
  - 礼節 ……思いやりのある生徒
  - 進取 ……挑戦する生徒
- 《目指す学校像》 …生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校
- 《目指す教師像》 …熱意、誠意、愛情のあふれる教師
- 【本年度の重点目標】 「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を伸ばすワンポイントアップ大作戦～」

## 「はじめが肝心！」そして「初心、忘れるべからず！」

「はじめが肝心」とよく言われますが、これは物事の最初にしっかり取り組めば、その後もスムーズに物事が進んでいくという意味です。

さて、新学期が始まって2週間余りが過ぎました。これまでの2週間の様子を振り返ってみると、学校集会等ではしっかりと発表する人の方を向き、真剣な態度で集会に臨んでいます。授業を参観してみると、どのクラスも真剣に学習に取り組み落ち着いて授業を受けることが出来ています。また、朝や廊下ですれ違う時、気持ちのよい挨拶ができています。掃除や当番の仕事等にも一生懸命に取り組んでいる姿が見られます。どの場面からも「はじめが肝心」がしっかり実践できていて素晴らしいなと感じます。

そうした素晴らしいスタートが切れたのも、新学期が始まって「よし、頑張るぞ」という意欲の表れだと思います。是非、今もっている「よし、頑張るぞ」という意欲をいつまでも持ち続けてください。つまり、「初心、忘れるべからず」です。この初心を忘れないための秘訣は、常に目標を意識することです。意欲が途切れてしまいそうなとき、目標をもう一度意識して、その達成に向けて意欲を継続させるのです。

しかし、2週間が経過し慣れてくると、ややもすると心がだらけてしまうことがあります。心がだらけると勉強や部活への取り組み方が低下してしまいます。初心を忘れずに「やる気・勇気・根気」を発揮し、自分の力のワンポイントアップを図っていきましょう。また、緊張感が取れてくると少しずつ疲れが出てきます。毎日の規則正しい生活を心がけ、適度に休憩をとるなどメリハリのある生活を心がけることが大切です。

## 各部の特徴を発揮し大いに盛り上がった部活動紹介

【吹奏楽】



【野 球】



【サッカー】



【卓球(男)】



【卓球(女)】



【バレー】



【テニス(男)】



【テニス(女)】



【剣 道】



【バスケ(男)】



【バスケ(女)】



【柔 道】



新入生が入部する部活動を決める上で、とても大切な部活動紹介が、4月13日(木)に実施されました。

各部がそれぞれ工夫し、パフォーマンスや寸劇等を取り入れ、練習の様子や得意技等を披露したり、各部のやり甲斐や魅力を紹介したりしました。和やかな中にも真剣さが伝わってきて、西中の雰囲気良さが発揮された素晴らしい部活動紹介となりました。その意欲的な取組から、「やる気」がワンポイントアップしたと感じました。

現在、新入生は部活体験を実施しています。部活紹介で各部の特徴を理解し、更に実際に自分で体験したことを通して入部を決定していきます。新入生を加えて新体制の部活動がスタートしますが、今後の各部の活躍を大いに期待しています。

## JRC活動を通して主体性を伸ばす



生徒会の大切な活動の一つであるJRCの入会式が4月15日(金)の生徒集会で行われました。まず、本部役員から「赤十字」についての説明がありました。赤十字とは、スイス人のデュナンが提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ということを目的とし、世界190の国と地域に広がるネットワークを生かして活動する組織のことだそうです。

そして、JRC (Junior Red Cross 青少年赤十字) は、生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、日常生活の中での実践を通じて、命と健康を大切に地域社会や世界のために奉仕し世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として様々な活動を行っているものだという事です。

また、JRCには「気づき・考え・実行する」という態度目標があります。この3つは、西中が掲げている「主体性と支え愛～3つの気(やる気・勇気・根気)を伸ばすワンポイントアップ大作戦」に通じる考え方だと思います。是非、JRC活動を通して「気づき・考え・実行する」を具現化し、更に主体性と支え愛に繋げていってほしいと思います。

## 沼田西中「部活動方針」について

日頃より、本校の部活動運営にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。部活動が生徒達にとって安心・安全で人間的成長が図れる教育部活となるよう、下記の方針に沿って活動を推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 【適正な部活動の運営に向けて】※休養日についてのみ抜粋

#### (3) 適切な休養日等の設定

生徒の心身のバランスのとれた部活動の運営と、また教職員の負担軽減や長時間労働解消のためにも休養日や活動時間等を設定することが重要である。そのため、年間を通して計画的に、適切な休養日等を設定することとする。

##### ① 週当たりの休養日の設定

・週2日以上(平日に1日と土・日曜日のいずれか1日)の休養日を設定する。  
※なお、大会等への参加などにより、土・日曜日にやむを得ず活動する必要がある場合は、代替休養日を確保する。

##### ② 長期休業中の休養日の設定

・長期休業の意義を考慮して、土・日曜日は休養日とする。  
・部活動をもたない日を設定すること。(学校閉庁日に合わせる)  
※なお、大会等への参加などにより、土・日曜日にやむを得ず活動する必要がある場合は、代替休養日を確保する。

### 【部活動編成についての方針】

#### (1) 全体

- ① 団体、個人競技ともに新設はしない。
- ② 全員入部を原則とする。
- ③ 個人種目がある競技は、希望により大会参加を認める。  
(②により本人はどこかの部に所属する。)

#### (2) 休部にする場合

- ① 少人数でも部員がいる場合は、休部にはしないで活動を保障する。ただし、本人から希望があれば転部を認める。
- ② 部員がいなくなった時点で「休部」扱いとし、次年度の募集はしない。

#### (3) 「休部」からの復活について

- ① 生徒、保護者、地域の指導者等の要望により検討する。  
ア 団体として認める場合  
次年度、次々年度の2学年で合わせて、単独で団体出場できる見込みが立った場合、4月より復活できる。  
イ 個人のみ復活は認めないが、希望があれば大会参加は認める。  
ウ 「休部」からの復活はあくまで団体出場の見込みが立った場合のみであり、個人戦への参加は(1)③による。

### 《コラム～校長室より・校長の独り言～》

ある日の休み時間、廊下で特別教室から戻ってくる生徒とすれ違った時、元気よく「こんにちは」と挨拶してくれました。その後から来る生徒もみんな元気よく挨拶してくれました。その生徒達は、1年生でした。新しく入ってきた1年生が元気よく挨拶してくれるので、とても嬉しくなり元気が出てきました。1年生がしっかり挨拶できるのは、2・3年生が模範を示してくれているからだ  
と思います。西中は、元気で気持ちの良い挨拶で溢れています。



